

| | | | | | | | | | | |
|-------|---------------------------|-----|-----|---------|-----|----|---------|---|---------------|------|
| 科目名 | 中級ダイビング実習 | | | | | | | | 年度 | 2026 |
| 英語科目名 | Intermediate scuba diving | | | | | | | | 学期 | 後期 |
| 学科・学年 | スポーツトレーナー科三年制 | 1年次 | 必/選 | 選※ | 時間数 | 30 | 単位数 | 1 | 種別※ | 実習 |
| 担当教員 | 平川 | | | 教員の実務経験 | | 有 | 実務経験の職種 | | ダイビングインストラクター | |

【科目の目的】

初級ダイビング実習がスクーバダイビングの基本技術を習得するコースに対し、中級ダイビング実習はダイビング技術の応用方法を習得するコースとなります。中級ダイビング資格は、あらゆる潜水活動に対応できるようにするため、高度なダイビング専門知識と多岐にわたる潜水技術の習得が目的です。

【科目の概要】

スクーバダイビング「アドバンスダイバー」資格取得のために必要な知識・技術について、講義と海洋実習を通じて学びます。

【到達目標】

- A ダイビングを安全に行う方法を身につける
- B アドバンスド・オープンウォーターダイバーに必要な基本技能・理論を身につける
- C 団体で行動する能力を身につける

【授業の注意点】

初級ダイビング資格取得者対象
ダイビング器材は乱暴に扱わず、実習中は大切に使用してください・実習中の健康管理には十分気を付けること

評価基準＝ルーブリック

| ルーブリック 評価 | レベル3 優れている | | レベル2 ふつう | | レベル1 もう少し |
|--------------|--------------------------------------|--|---------------------------------------|--|-----------------------------|
| 到達目標 A | ダイビングを安全に楽しく行うことができる | | ダイビングを安全に行うことができる | | ダイビングを行うことができる |
| 到達目標 B | アドバンスド・オープンウォーターダイバーとしての技能・理論を会得している | | アドバンスド・オープンウォーターダイバーとしての技能・理論が身につけている | | アドバンスド・オープンウォーターダイバーを理解している |
| 到達目標 C | 団体でも積極性を持って行動することができる | | 団体でも責任感をもって行動することができる | | 団体でも行動する事ができる |
| 到達目標 D | | | | | |
| 到達目標 E | | | | | |

【教科書】

配布資料

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

筆記・実技

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

| 科目名 | | 中級ダイビング実習 | | | 年度 | 2026 |
|------|-----------|---------------------------|-----------------------|----------------------------------|------|------|
| 英語表記 | | Intermediate scuba diving | | | 学期 | 後期 |
| 回数 | 授業テーマ | 各授業の目的 | 授業内容 | 到達目標＝修得するスキル | 評価方法 | 自己評価 |
| 1 | オリエンテーション | ダイビングとは何か？ | 1 ダイビング | ダイビングとは何かを理解している | 2 | |
| | | | 2 アドバンスドオープンウォーターダイバー | アドバンスドオープンウォーターダイバーとは何かを理解している | | |
| 2 | ダイビングの特性 | 自然について | 1 気象学 | ダイビングに関わる天候について理解している | 2 | |
| | | | 2 海中生物 | 海中生物について理解している | | |
| 3 | ダイビング理論① | 障害等について | 1 高気圧障害 | 高気圧障害について理解している | 1 | |
| | | | 2 ダイビングの事故 | ダイビングの事故について理解している | | |
| 4 | ダイビング理論② | 救急法・CPR | 1 救急法 | ダイビングで起こり得る怪我等の対応ができる | 1 | |
| | | | 2 CPR | 心肺蘇生法を行うことができる | | |
| 5 | ダイビング技術① | スキンドайビング① | 1 エントリー | スキンドайビングにおいて安全にエントリーする方法を理解している | 2 | |
| | | | 2 エキジット | スキンドайビングにおいて安全にエキジットする方法を理解している | | |
| 6 | ダイビング技術② | スキンドайビング② | 1 スノーケル | 安全にスノーケルで呼吸する方法を理解している | 2 | |
| | | | 2 クリア | 安全にスノーケルクリアする方法を理解している | | |
| 7 | ダイビング技術③ | スキンドайビング③ | 1 マスクなし呼吸 | マスクなしでも適切に呼吸を行う方法を理解している | 2 | |
| | | | 2 マスク投げ | 適切なマスク投げの方法を理解している | | |
| 8 | ダイビング技術④ | スキンドайビング④ | 1 スノーケルクリアの併用 | 移動しながらのスノーケルクリアの方法を理解している | 2 | |
| | | | 2 マスクなし移動 | マスクなしでも適切に移動する方法を理解している | | |
| | | | 3 片フィン併用 | 片フィンでも適切に移動する方法を理解している | | |
| 9 | ダイビング技術⑤ | スキンドайビング⑤ | 1 立泳ぎ&浮力調整 | 立泳ぎをしながら適切に浮力調整する方法を理解している | 2 | |
| | | | 2 潜降&浮上 | 安全に潜降・浮上する方法を理解しているか | | |
| | | | 3 エントリー&エキジット | 安全にエントリー&エキジットすることができる | | |
| 10 | ダイビング技術⑥ | スクーバダイビング① | 1 エントリー | スクーバダイビングにおいて安全にエントリーする方法を理解している | 2 | |
| | | | 2 エキジット | スクーバダイビングにおいて安全にエキジットする方法を理解している | | |
| 11 | ダイビング技術⑦ | スクーバダイビング② | 1 レギュレーターリカバリ | 適切にレギュレーターリカバリを行う方法を理解している | 2 | |
| | | | 2 呼吸 | 安全に水中で呼吸を行う方法を理解している | | |
| | | | 3 レギュレータークリア | 適切にレギュレータークリアを行う方法を理解している | | |
| 12 | ダイビング技術⑧ | スクーバダイビング③ | 1 マスククリア | 適切にマスククリアを行う方法を理解している | 2 | |
| | | | 2 立泳ぎ+機材脱着 | 立泳ぎをしながら適切に機材を脱着する方法を理解している | | |
| | | | 3 水面移動 | 安全且つ適切に水面を移動する方法を理解している | | |
| 13 | ダイビング技術⑨ | スクーバダイビング④ | 1 コンパスナビゲーション | コンパスを利用して目的地まで移動することができる | 2 | |
| | | | 2 サーチ&リカバリ | 海中で物を検索、回収することができる | | |
| 14 | ダイビング技術⑩ | スクーバダイビング⑤ | 1 ディープダイビング | 水深18m以上潜ることができる | 2 | |
| | | | 2 ナイトダイビング | 夜の海を安全に潜ることができる | | |
| 15 | ダイビング技術⑨ | スクーバダイビング⑥ | 1 スキンレスキュー | ダイビング中に問題が起こった時に安全に対処することができる | 2 | |
| | | | 2 フリーダイビング | 安全に楽しくスクーバダイビングをおこなうことができる | | |

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等